

第15回年次大会

日時:2005年6月25日(土)、26日(日)

会場:宮城大学 大和キャンパス(宮城県黒川郡大和町学苑1)

大会テーマ:戦争と移民

6月25日(土) 受付開始 12:00 宮城大学 本部棟4F 階段ホール

● 運営委員会

● 自由論題報告 13:00 ~15:40

A会場 (司会:白水繁彦・椿真智子)

13:00~13:40 山本かほり(愛知県立大学文学部「在日韓国・朝鮮人の非集住地区での文化運動-名古屋市の事例を中心に-」)

13:40~14:20 拝野寿美子(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)「日系ブラジル人青少年の『日本での単純労働』観に関する一考察-自己実現とワンランク上の生活を夢見て-」

14:20~15:00 永田貴聖(立命館大学大学院一貫性博士課程)「国境を越えるフィリピン人の実像、80年代から現在まで-聞き取り調査を中心に-」

B会場 (司会:坂口満宏・守屋友江)

13:00~13:40 高橋典史(一橋大学大学院博士課程)「日系移民と日系宗教の関係性の再検討-ハワイにおける日系諸宗教の布教過程の比較考察-」

13:40~14:20 物部ひろみ(Japanese Cultural Center of Hawaii)「二世のより良き未来のために-1920-1930年代のハワイにおける日系人の帰農運動-」

14:20~15:00 河原典史(立命館大学文学部)「第二次世界大戦以前のカナダ西岸における日系造船業の展開-日系漁業とのかかわりをめぐって-」

15:00~15:40 武田尚子(武蔵大学社会学部)「移民経験者と家族のライフコース-地域社会へのインパクト-」

C会場 (司会:島田法子・高木(北山)真理子)

13:00～13:40 門池啓史（名古屋市立大学大学院博士課程）「日本軍兵士になった日系アメリカ人のアイデンティティ」

13:40～14:20 岡野宣勝（成城大学民俗学研究所）「『琉球系アメリカ人』の創出と消滅－米国の沖縄統治戦略におけるハワイ沖縄移民の役割－」

14:20～15:00 権藤千恵（立命館大学大学院博士課程）「失われゆく記憶の記録－ハワイ日系人強制収容所の調査・展示を通じて－」

15:00～15:40 日野壽憲（明海大学外国語学部）「英国における反イスラム感情の歴史的展開」

● ラウンドテーブル 15:50 ～17:50

「東北の移民と今日的課題－宮城の移民の先駆者を事例として－」

司会・コーディネーター：・立花鶴憲（河北新報社論説委員長）

報告者：小野寺カンイチ（登米市・旧東和町）「及川甚五郎」

中沢夏樹（JETRO）「南米」

三橋勇（宮城大）「中米」

北村悦朗（宮城県庁）「東北6県の移民関係」

● 総会 ① 18:00～18:30

● 懇親会 18:40～20:40 会場：学生ラウンジ

6月26日（日）受付開始 8:30 宮城大学 本部棟4F 階段ホール

● 運営委員会

● 大会シンポジウム 9:00～12:00

「戦争と移民：9.11と真珠湾」

司会・コーディネーター：村川庸子（敬愛大学）・森本豊富（早稲田大学）

趣旨説明 村川庸子

「9.11と真珠湾：歴史のアナロジーか（課題）」と題して、第二次大戦中の日本人・日系人政策との比較において、現在のアメリカの対テロ・外国人政策を論じる。

第一報告 山倉明弘（天理大学）「日系人強制収容政策の歴史との比較の視点から」

第二報告 水口 章（敬愛大学）「中東研究者から見た現在のアメリカの外国人政策」

第三報告 交渉中

コメント コメントーター： 戸上宗賢（元龍谷大学）、他 1 名は交渉中

● 総会 ② 12:30 ~ 13:00

● 運営委員会

■ 大会参加費

大会参加費 会 員 : 無 料

非会員: 一般 1,000 円 院生・学生 500 円

懇親会 5,000 円 (院生・学生 3,000 円)